



建造中の3代目さるびあ丸

# 第195期 事業報告書

2019年1月1日から2019年12月31日まで



証券コード：9173

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
第195期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）の当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、企業収益は高い水準で底堅く推移し、雇用情勢も着実に改善していることから、個人消費は持ち直し、景気は緩やかに回復しています。一方、米中の通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方など、海外経済の動向は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原油価格の動向や当社の航路や営業に大きな影響を及ぼす度重なる台風や低気圧の発生、また、国内外旅行先としての東京諸島と他地域との競合の激化などがあり、依然として厳しい状況が続いております。さらに東京諸島においては、少子高齢化の波は本土より進み、人口減少に歯止めがかからない状況となっております。

このような状況の下、当社および当社グループは、事業の活性化策として、東京諸島の「強みや魅力」の原点に目を向け、2013年より施策の方向性をスローガンとして掲げ取り組んでまいりました。2019年は11月に創立130周年の節目を迎えることから、「Revolution 2019 ～新時代への変革」を掲げ、急速に変化する社会情勢に順応し、過去にとらわれず変革し、そして粘り強くチャレンジしていく年とし、2020年6月の三代目となる新造貨客船「さるびあ丸」と7月の新造高速ジェット船「セブンアイランド結（ゆい）」の就航に向け、東京諸島の豊かな自然と星空の魅力を一層広め、1人でも多くのお客様に島にお越しいただき、リピーターとなって長期滞在していただけるよう、グループ一丸となって活動を続けました。主力の海運関連事業においては、よりお客様のニーズに合った「東京の島」ならではの企画商品の造成に努めて、営業活動と宣伝活動を拡大し強化を図りましたが、梅雨明けの遅れや国内各地に大きな被害をもたらした夏から秋にかけての台風10号、15号、19号などの影響により、最多客期の夏場の定期航路、東京湾納涼船共に旅客数は大きく減少し、秋以降も企画商品などにより営業展開を図りましたが、回復には至りませんでした。また、公共工事の遅れ・減少に伴い貨物輸送量も伸び悩みました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は111億1千4百万円（前期114億5千9百万円）、営業損失は7千3百万円（前期営業利益1億3千1百万円）、経常利益は3百万円（前期1億7千7百万円）、税金費用などを計上した後の親会社株主に帰属する当期純利益は2千4百万円（前期1億4千8百万円）となりました。

また、個別業績につきましては、売上高は91億7千5百万円（前期93億7千9百万円）、営業利益は6百万円（前期1億2千8百万円）、経常利益は7百万円（前期1億7千7百万円）、税金費用を計上した後の当期純利益は5百万円（前期1億4千5百万円）となりました。

今後のわが国の経済は、緩やかな回復が続くことが期待されていますが、米中の通商問題を巡る緊張の影響など、先行きは不透明な状況が続くものと見られています。当社グループにとりましては原油価格の動向や、為替相場の変動、気象海象条件など、引き続き厳しく予断を許さない環境が続くものと予想されます。

このような状況の下、当社および当社グループは、基本理念である「安全運航」の徹底と「良質のサービスの提供」のもとに、次期については、「東京の島」のきれいな海や山などの豊かな自然と「プラネタリアム・アイランド」として注目されている星空の魅力を継続して発信し、観光需要の掘り起こしに努めてまいります。

主力事業分野である海運関連事業のうち、旅客部門は新規の顧客開拓とリピーターの確保に継続して取り組み、よりお客様のニーズに合った「東京の島」ならではの企画商品の造成に努めてまいります。大島の最大イベント「樺まつり」においては、引き続き、大島のつばぎと伊豆方面・房総方面の花のイベントをつないだ「海のフラワーライン」の営業展開を図ります。臨時航路では、需要の強い港を軸にさらなる旅客の獲得を目指すとともに、訪日外国人利用客の集客活動に努めて乗船客の増加と増収を図ります。一方、東京湾納涼船は、幅広い年齢層のお客様にお楽しみいただける船内空間を創出してまいります。また、貨物部門では、顧客満足度の向上を目指して、ホームページでの需要に合った情報の発信を継続します。あわせて貨物事故防止を強化することで、引き続き貨物輸送の品質管理向上に努めてまいります。

商事料飲事業は販売力の強化に取り組んでまいります。中心となる商事部門は島内外の取引先との連携をさらに密にして情報共有を図り、営業活動につなげていくと共に、新たな収益となる事業の拡大を目指してまいります。また、料飲部門では、東京湾納涼船でグループが利用するパーティープランや模擬店での売上増加に努めるほか、竹芝客船ターミナルにある島の郷土料理が味わえる飲食店「鱈甲鮨（べっこうずし）」の営業など、近隣オフィスの利用者の開拓にも力を注いでまいります。

レストラン事業の東京湾周遊の東京ヴァンテアンクルーズは、利用客数の増加に努めてまいります。竹芝・浜松町地区再開発のビッグプロジェクトや東京2020オリンピック・パラリンピック開催を追い風に、営業活動と宣伝活動を拡大し、強化を図ります。また、引き続き船内サービスの更なる向上に取り組んでまいります。

ホテル事業については、大島の豊富な海の幸の料理・良質の源泉掛け流し温泉・露天風呂からの三原山の眺望やホテル屋上に星空を観望できる「三原山テラス」の施設など、「島の魅力」を前面に押し出した営業活動をさらに強化し、宿泊客の増加による稼働率の向上を目指してまいります。また、引き続き旅客部門との連携による企画商品の充実やサービスの向上を図ります。

旅客自動車運送事業では、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定のもと、引き続き安全運行に努めてまいります。「樺まつり」は「国際優秀つばぎ園」を巡るコース、初夏には「大島あじさいツアー」などの季節の人気定番商品のほか、大島のパワースポットや、フォトスポットである通称「バームクーヘン」と呼ばれている「地層大切断面」へ案内するバスツアーなどを加えて企画商品の充実を図り、団体利用客や定期観光バス、路線バスの年間を通した利用客の増加を目指してまいります。

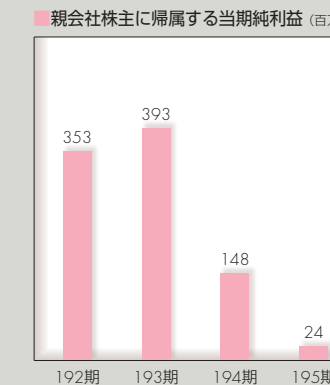
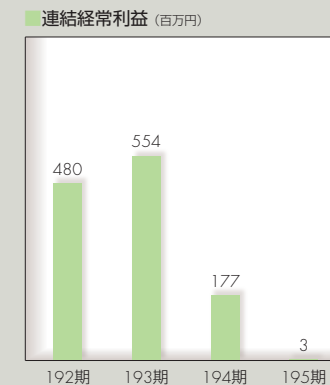
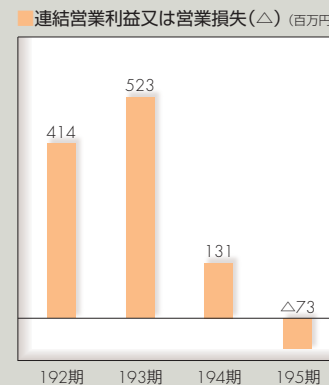
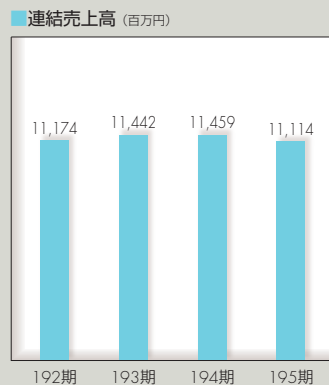
以上のとおり、各部門に亘って業績向上を図るため、一層の努力をいたす所存であります。株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対し、従来と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山崎潤一

連結決算ハイライト 第195期（2019年1月1日～2019年12月31日）



海運関連事業

売上高  
8,340百万円  
(対前期比 2.8%減)

営業利益  
320百万円  
(対前期比 35.7%減)



主力の海運関連事業の旅客部門は、東京諸島の島や海などの豊かな自然と、よりお客様のニーズに合った「東京の島」ならではの企画商品並びに会社創立130周年に向けた各種記念プランを造成し、営業・宣伝活動に取り組みました。大島の最大イベント「椿まつり」においては、大島町と連携し、「国際優秀つばき園」と伊豆方面の花のイベントをつないだ「海のフラワーライン」の営業展開を引き続き図りました。また、千葉港と江の島から「椿まつり」の大島への臨時船を運航し、4月以降も江の島、清水、木更津から臨時船を運航したほか、GW10連休に向け営業・宣伝活動を強化して集客に努めました。夏場の最多客期には、「プラネタリウム・アイランド」として注目されている東京諸島の星空をテーマにしたキャンペーン展開に取り組み、秋以降も大島三原山ハイキングプランや130周年記念プランなどで安心とお手軽さをアピールした旅行の営業展開を図りました。しかしながら、梅雨明けの遅れやピークのお盆時期及び秋の三連休などに国内各地に大きな被害をもたらした台風10号、15号、19号や低気圧の影響により、定期航路の旅客数は大きく減少しました。また、東京湾納涼船も乗船時の利便性向上などサービス向上と集客に努めましたが、定期航路と同様の理由により、計画した乗船客数には届きませんでした。この結果、全航路の旅客数は83万1千人（前期85万5千人）となりました。

一方、貨物部門は、貨物輸送のホームページ上で、各種問い合わせに対する自動応答システムの導入や運賃のシミュレーション、生鮮食料品の受付状況の案内、東京諸島への引越しの案内など、お客様の利便性向上と集荷効率の引き上げを図りました。また、各島の公共工事等の動向を注視し、集荷に遺漏がないように取り組みました。しかしながら、公共工事の遅れ・減少に伴い輸送量が伸び悩み、貨物取扱量は全島で27万5千トン（前期28万4千トン）となりました。

この結果、当事業の売上高は、83億4千万円（前期85億8千1百万円）、営業利益は3億2千万円（前期4億9千8百万円）となりました。

商事料飲事業

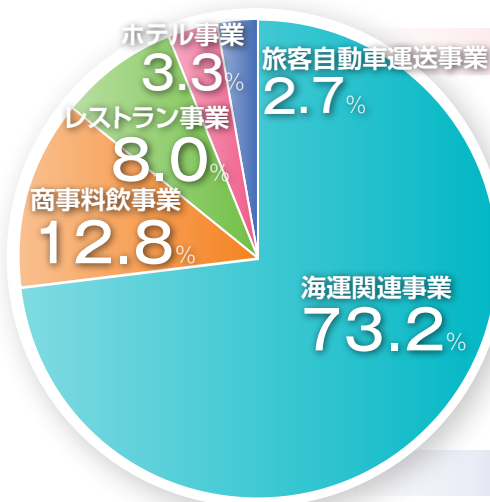
売上高  
1,457百万円  
(対前期比 2.0%減)

営業利益  
127百万円  
(対前期比 1.2%増)

料飲部門は、東京湾納涼船の乗船客数が伸び悩み、売上が減少しました。一方、当事業の中心となる商事部門は、貨物部門並びに島内外の取引先との連携を密にして情報共有を図ったことにより、島嶼向けセメントの販売が堅調に推移しました。この結果、当事業の売上高は14億5千7百万円（前期14億8千6百万円）、営業利益は1億2千7百万円（前期1億2千5百万円）となりました。



売上高 構成比



レストラン事業

売上高  
906百万円  
(対前期比 9.6%減)

営業利益  
△39百万円  
(対前期比 -%)

東京湾周遊のレストランシップ事業は、営業活動や広報宣伝活動の強化・既存プランの充実・航路の見直しなど行いましたが、梅雨明けの遅れや度重なる台風などの天候不順の影響により、団体客・個人客ともに伸び悩み、全クルーズでの利用客数は10万8千人（前期12万人）となりました。この結果、当事業の売上高は9億6百万円（前期10億3百万円）、営業損失は3千9百万円（前期営業利益2千4百万円）となりました。



ホテル事業

売上高  
372百万円  
(対前期比 2.0%増)

営業利益  
17百万円  
(対前期比 -%)

大島温泉ホテル事業は、大島の豊富な海の幸の料理・良質の源泉掛け流し温泉・露天風呂からの三原山の眺望やホテル屋上に星空を展望できる「三原山テラス」の施設など、「島の魅力」を前面に押し出した営業活動を行ったほか、閑散期に130周年特別プランで集客した結果、「椿まつり」期間中から年間を通して、宿泊および日帰りの利用は順調に推移しました。この結果、当事業の売上高は3億7千2百万円（前期3億6千5百万円）となり、費用面で料理材料原価を見直したことなどにより、営業利益は1千7百万円（前期営業損失8百万円）となりました。



旅客自動車運送事業

売上高  
311百万円  
(対前期比 0.7%減)

営業利益  
△14百万円  
(対前期比 -%)

当事業の中心となる大島島内におけるバス部門は、貸切バス安全性評価制度三ツ星認定のもと、安全運行に努めてまいりました。定期観光バスでは、伊豆大島のシンボルである「三原山」や「国際優秀つばき園」を巡る「椿まつり」の人気定番コースのほか、フォトスポットである通称「バームクーヘン」と呼ばれている「地層大切断面」へ案内するバスツアー、130周年記念バスプランなどの企画商品の充実を図り、夏期には海水浴場への路線バスの運行で団体客・個人客の獲得に注力しましたが、夏期以降の台風などの影響もあり乗客数は伸び悩みました。この結果、当事業の売上高は3億1千1百万円（前期3億1千3百万円）、営業損失は1千4百万円（前期営業損失2千7百万円）となりました。なお、定期路線バスにおいては大島町から継続的な支援を受けております。



■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2019年12月31日現在)	前期 (2018年12月31日現在)
<b>●資産の部</b>			
流動資産		3,471	3,877
固定資産		16,624	12,009
有形固定資産		14,298	9,901
無形固定資産		148	129
投資その他の資産		2,176	1,978
<b>資産合計</b>		<b>20,095</b>	<b>15,887</b>
<b>●負債の部</b>			
流動負債		4,117	3,121
固定負債		10,684	7,418
<b>負債合計</b>		<b>14,802</b>	<b>10,540</b>
<b>●純資産の部</b>			
株主資本		5,089	5,108
資本金		1,100	1,100
剰余金		3,999	4,018
自己株式		△10	△9
その他の包括利益累計額		125	116
非支配株主持分		78	123
<b>純資産合計</b>		<b>5,293</b>	<b>5,347</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>20,095</b>	<b>15,887</b>

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度を表示しております。

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	前期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)
売上高		11,114	11,459
売上原価		9,829	10,001
売上総利益		1,285	1,457
販売費及び一般管理費		1,359	1,326
営業利益又は営業損失(△)		△73	131
(営業外収益)		156	135
(営業外費用)		78	89
経常利益		3	177
税金等調整前当期純利益		3	177
税金費用		11	46
当期純利益又は当期純損失(△)		△8	130
非支配株主に帰属する当期純損失(△)		△33	△17
親会社株主に帰属する当期純利益		24	148

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	前期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		633	348
投資活動によるキャッシュ・フロー		△4,129	△1,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,088	1,572
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△406	75
現金及び現金同等物の期首残高		1,669	1,593
現金及び現金同等物の期末残高		1,262	1,669

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

12月31日現在および6月30日現在の100株以上ご所有の株主各位に次の通り株主乗船割引券および株主サービス券を発行しております。

■権利確定日および有効期間等

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		↑				↑		↑			↑
		株主優待発送 (有効期限：4月1日～9月30日)				権利確定日			株主優待発送 (有効期限：10月1日～翌年3月31日)		権利確定日

株主乗船割引券

●発行方法

所有株式数	100株～199株	200株～399株	400株～599株	600株以上
発行枚数	10枚	20枚	30枚	40枚

●優待内容

- ・全航路の全等級について、お一人様乗船一区間につき乗船割引券1枚にて所定運賃の35%引(7月、8月のご乗船は25%引)とします。ただし、島嶼において同日に同一方向の他の船に乗り継いでご利用になる場合に限り一区間として発売します。この場合、区間内の乗船券を同時にご購入下さい。
- ・東京湾納涼船(2020年7月1日～2020年9月22日運航)について、**大人お一人様乗船割引券1枚にて1,200円でご利用いただけます。**但し、中高生料金、小学生料金の割引はありません。
- ・有効期間内に乗船券をご購入下さい。

株主サービス券

●発行方法

- ・100株以上保有されている株主様に、株主サービス券を一律1冊発行致します。

●優待内容

種類	内容	枚数
東海汽船 企画旅行15%割引券	東海汽船(株)が企画・実施する旅行商品(日帰り・宿泊とも)を15%割引でご利用いただけます。但し、特別プラン、延泊ならびにオプション(タクシー観光、バス観光、レンタカー、ダイビング、各種体験等)は対象外となります。	各5枚
大島温泉ホテル 宿泊50%割引券	大島温泉ホテルをご宿泊(1泊2食付)基本料金の50%割引でご利用いただけます。	
大島温泉ホテル 朝食休憩割引券	大島温泉ホテルの温泉ご入浴と朝のお食事ができる休憩料金(通常料金おとな：2,100円 こども1,700円)を500円割引(こども300円割引)にてご利用いただけます。	
レストランシップ 「ヴァンテアン」30%割引券	レストランシップ「ヴァンテアン」の各クルーズセット料金を30%割引でご利用いただけます。	
東海汽船グループ ショップ・売店15%割引券	竹芝客船ターミナル内売店「ショップ竹芝」、大島元町港・岡田港船客待合所内売店(一部店舗除く)、大島温泉ホテル内売店、レストランシップ「ヴァンテアン」船内ロゴショップにて、お買い上げ金額の15%割引でご利用いただけます。ただし、切手や印紙類・新聞書籍・酒類・煙草・その他一部商品を除きます。	
竹芝客船ターミナル内 レストラン「鱈甲鯧」割引券	竹芝客船ターミナル内レストラン「鱈甲鯧」のランチメニュー・島島弁当を200円割引にてご利用いただけます。ただし、お飲み物・サイドメニュー等は割引対象外となります。	各5枚
大島島内路線バス 1日・2日乗車券割引券	大島島内で運行する路線バスが乗り降り自由となる1日乗車券(通常料金おとな2,050円・こども1,030円)をおとな1,850円・こども930円にて、2日乗車券(通常料金おとな3,100円・こども1,550円)をおとな2,800円・こども1,400円にてご利用いただけます。	

## ■会社概要 (2019年12月31日現在)

商号	東海汽船株式会社 (証券コード 9173)
本社	東京都港区海岸1丁目16番1号
創立	1889年11月15日
資本金	11億円
従業員数	345名

## ■株式の状況 (2019年12月31日現在)

発行可能株式総数	880万株
発行済株式の総数	220万株
株主数	6,492名

## ■大株主 (2019年12月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
藤田観光株式会社	446千株	20.32%
DOWAホールディングス株式会社	150千株	6.83%
株式会社みずほ銀行	52千株	2.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	51千株	2.32%
三菱重工業株式会社	50千株	2.27%
JXTGホールディングス株式会社	50千株	2.27%
東海汽船従業員持株会	35千株	1.60%
みずほ信託銀行株式会社	35千株	1.59%
内海造船株式会社	33千株	1.50%
株式会社恵興	23千株	1.04%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式 (5,140株) を控除して計算しております。

## ■役員 (2020年3月24日現在)

代表取締役社長	山崎潤一
専務取締役	石川寛治
取締役	齊藤昌哉
取締役	石渡恒夫
取締役	若林英一
取締役	櫻井薫
常勤監査役	牧野龍裕
監査役	池田雄二郎
監査役	宇田川秀人

## ホームページのご案内



<https://www.tokaikisen.co.jp/>

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っていますのでぜひご利用下さい。また、船の時刻、運賃、空席情報、当社企画旅行情報、各島の情報を当社SNS等で公開しておりますので、併せてご利用下さい。

## ■株主メモ

事業年度	毎年1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
基準日	12月31日 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 (公告掲載URL <a href="https://www.tokaikisen.co.jp/">https://www.tokaikisen.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
その他ご不明な点は、株主名簿管理人0120-288-324 (フリーダイヤル) へお電話下さい。	

## ■株式に関するお知らせ

### 「特別口座」について

株券電子化に際して、株主様が証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかったご所有の当社株式は、みずほ信託銀行にて開設した特別口座 (※) にて管理されています。特別口座においては、株式を売買することができない (単元未満株式の買取を除く) など、株主様にご不便をおかけすることがあります。お手続きを円滑に行うためにも「特別口座」から「証券会社等の口座」へのお振替申請をお勧めいたします。(予め証券会社等での口座開設が必要です。)

振替手続の申請、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。

(※) 「特別口座」とは、株券電子化に伴い、証券会社等の口座を通じて証券保管振替機構 (ほふり) に預託されなかった株券について、株主様の権利を保全するため、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

### 単元未満株式の買取について

当社では、証券市場で株式を売買できる取引単位を100株単位 (1単元) とさせていただいており、単元未満株式 (1~99株) は証券市場においては売買することができません。

そこで、株主様がご所有の単元未満株式を当社が買取らせていただく制度がございます。単元未満株式をご所有の株主様は、この制度のご利用をご検討いただきますようご案内いたします。

買取制度のお手続きにあたっては、所定の手数料 (会社が定める買取手数料) が必要となります。単元未満株式買取制度のご利用、お問合せは以下の「お問合せ先」にてご確認ください。

### お問合せ先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324

☆本ご案内 (ご説明) は、株式に関する諸手続についてご案内 (ご説明) するものです。特定の証券会社との取引勧誘や単元未満株式の買取請求の勧誘を目的とするものではありません。お振替、単元未満株式買取請求に関しては、株主様ご自身にてご判断いただきますようお願い申し上げます。



1月

伊豆大島椿まつり  
オープニング  
江戸神輿ツアー

第64回伊豆大島椿まつりのオープニングに合わせて催行されました。元町の町中をミス大島や東海汽船マスコットガールらを先頭に迫力ある江戸神輿が続き大変賑わいました。



4月

4代目東海汽船  
マスコットガール  
就任

伊豆大島生まれの18歳、オスカープロモーション所属の「小池夏海」が4代目東海汽船マスコットガールに就任いたしました。島生まれならではの視点から、船・東京諸島の魅力をPRしております。



6月

新造船デザイン・船名発表

2020年夏に就航の新造貨客船と高速ジェット船のネーミングおよびカラーリングが決定しました。新造貨客船のネーミングは3代目「さるび丸」、高速ジェット船は「セブンアイランド 結」と命名されました。カラーリングは美術家の野老朝雄氏に手掛けていただき、島の海に映える藍色“TOKYO アイランドブルー”を纏ったスタイリッシュな船体特徴です。



2-11月

ジェット船の  
臨時航路を各地で運航!

2~11月にかけて、千葉、江ノ島、木更津、清水から伊豆大島、新島、式根島、神津島などへ臨時運航しました。今後もお客様へ島の魅力をお届けできるよう新たな航路の開拓に取り組んでまいります。



2-12月

創立130周年記念  
プレ企画ツアー

2019年11月に創立130周年を迎えるにあたり、プレ企画として毎月特別ツアーを実施し、10,000名以上のお客様にご参加いただきました。継続して、特別ツアーやイベントを企画してまいります。



7-9月

船内誌VOYAGEを発行!

式根島出身のアーティスト「みやかわくん」こと宮川大聖さんが表紙を担当されました。



11月

おかげさまで東海汽船は、2019年11月15日に創立130周年を迎えました。心より御礼申し上げます。



11月

11月27日新造船さるび丸進水式開催!

三菱重工業 下関造船所江浦工場で執り行いました。式は、当社社長 山崎潤一による命名の後、4代目東海汽船マスコットガール小池夏海による支綱切断が行われました。



島ナビ VOL.6  
八丈島

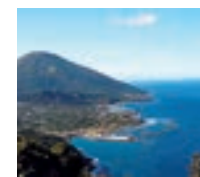
面積 約70km<sup>2</sup>  
周回 約59km  
東京・竹芝より287km



**八丈富士**  
火口を一周するお鉢めぐりでは、直径400m・深さ50mに達する、日本では珍しい井戸状に陥没した火口を眺め、海側に目を向ければ360度のパノラマを満喫できます。



**裏見ヶ滝**  
流れ落ちる滝の裏側を歩けるから「裏見」の名がついた滝。滝への道は散策路として整備され、ヘゴシダの茂るジャングルのような景観になっています。



**登龍岬展望台**  
下方から見上げると、岬道がまるで龍が天に昇るように見えることから名づけられました。頂上の展望台からは、底土港や三根の市街地、八丈富士や八丈小島を一望できます。晴天の日には、三宅島や御蔵島まで見渡せる島屈指のロケーションが満喫できます。

大型客船 三代目

# さるびあ丸

2020年  
6月25日  
就航!

二代目さるびあ丸の代替船として、主に東京～大島～利島～新島～式根島～神津島航路、夏季の東京湾納涼船として運航します。

スーパーエコシップ バリアフリー対応



## デザイン

船体カラーリングは美術家の  
野老朝雄<sup>とくろ あさお</sup>氏がデザイン。

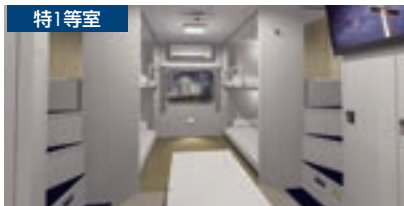
「繋ぐ」をテーマに幾何学の原理を用いてデザインされ、洗練された新しい雰囲気とともに爽やかさを感じるカラーリングです。新大型客船・新ジェット船ともに、島の海に映える藍色“TOKYO アイランドブルー”をまとったスタイリッシュな船体特徴です。

### 特等室



2人きりの特別空間。シンプルで高級感のあるデザインは癒しの旅に最適です。(シャワー・ウォシュレットトイレ完備)

### 特1等室



定員4名の2段ベッドタイプのお部屋です。ご家族やグループでのご利用がおすすめです。(シャワー・ウォシュレットトイレ完備、全席コンセント有)

### 1等室



定員7名～12名前後のお部屋です。顔の部分がパーテーションで仕切られ、プライベートに配慮されたつくりです。(全席マットレス・コンセント有)

### 特2等室



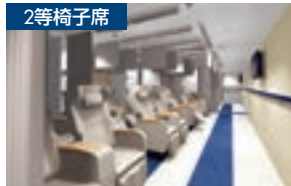
2段ベッドタイプで、安全面を考慮した高齢者の方も上りやすい階段です。カーテンを閉めれば、プライベートな空間を確保できます。(全席コンセント有)

### 2等和室



定員10名～18名前後のお部屋です。顔の部分がパーテーションで仕切られ、プライベートに配慮されたつくりです。

### 2等椅子席



リクライニングシートタイプのお席です。ゆったりとした2人掛けで、ロールカーテンを下ろすと、隣席との仕切りができます。(全席USBポート付属)

### バリアフリー



船内エレベーター、多目的トイレ、2等優先席を設置。車いすのお客様用に広い通路幅と車いす置き場スペースも確保しています。

## 船旅が楽しめる工夫



船内レストランは展望の良い最上階に。ドリンクを片手に語らい、船旅をお楽しみください。車いすのままご利用いただける優先席もございます。



トップデッキの床を柔らかいゴムチップに。デッキに横になり、星空を眺めるのに最適です。

## スーパーエコシップ

4つのエコロジー機能を搭載し、より環境にやさしい船に。

- 気象・海象情報を分析する最新の航海支援システムを搭載。最適な運航計画で燃費を削減。
- ディーゼル主機関1基1軸+電動駆動 プロペラ (アジマス推進器) の「ハイブリッド方式」によって低燃費、低騒音、低振動を実現。
- 「電子制御燃料噴射装置」搭載で排気ガス中のCO<sub>2</sub> (二酸化炭素)、NOx (窒素酸化物) を減少。
- 燃費の削減、環境対策に「排ガスエコノマイザ」を装備。